

図書館だより



No.53

図書館を振り返る

食物栄養学科 福 安 智 哉 助教

図書館の思い出や利用方法、本の読書方法についての原稿を依頼されてから、気が付けばずいぶんと時間が経ってしまった。正直に言えば、私は図書館をごく普通に使ってきてただけであり、特別な体験や何かそれだけで本や記事が書けてしまうような劇的なエピソードがあったわけではない。そのため、一体何を書けばよいのかとしばらく悩んでいた。しかし書いては消しを繰り返す内に、ふと思った。今回のような依頼であれば、むしろ日常の中で当たり前のように利用してきたという「普通さ」を記すことが、図書館をより身近に感じてもらうためには大切なことだろうか。

学生時代の私は、週に2~3回の頻度で大学の図書館を利用していた。目的は静かな環境でのレポート作成が多かったが、他にも読み損ねた雑誌や新聞をめくったり、新作コーナーを眺めたりするのが密かな楽しみだった。当時写真を趣味にしていたこともあり、National Geographic誌を繰り返し読んだのは良い思い出である。必死になって書いたはずのレポートに何を書いたかを全く覚えていないが、読んだ雑誌のタイトルや記事は今でも覚えている。

図書館は、ただ静かでレポート作成が捲る場所というだけではなかった。他の教室では味わえない適度な冷暖房で保たれた心地よい空間や、図書館独特的匂い、時折聞こえる紙をめくる音や筆記音。そして何より、あの妙に座り心地のよい椅子である。長時間座っても意外と疲れず、「昼寝いかがですか?」と囁かれていると感じることもあった。その独特な空気感からは、自然と落ち着きを感じた。私にとって図書館は勉強の場であると同時に、息抜きにも最適の場でもあった。

その一方で、図書館は思いがけない発見の場でもあった。目的の本を探して棚を歩くうちに、ふと目に留まった一冊を取り、気づけば夢中で読みふけってしまうことも少なくなかった。今でもそうだが、特に締め切りに追われているときに限って、なぜか「今読まないと損しますよ」と訴えてくる本が現れるのが不思議だ。この寄り道のせいで、どこで使えば良いか分からぬ豆知識は増えたが、レポートや課題が終わらず、帰宅後に必死になって取り組むことになったこともよくあった。今思えば、そんな寄り道が、今の自分の興味や考えを形作っているのかもしれない。無駄ではなかったと信じたい。

私の読書法も特に特別なものではない。「何となく興味を持ったら手に取る」「少し読んで合わなければ戻す」「気に入ったら借りて家や通学時に電車でじっくり読む」ただその繰り返しである。しかし今思えばこの「普通の読書」は意外と貴重であった。環境の変化など、様々な要因が重なると、日常の中でふらりと図書館に立ち寄り、本をめくるという時間は案外失われやすい。

結局のところ、私にとって図書館とは「生活の一部」であった。図書館で人生が一変するような特別な体験ができたわけではない。特別な読書方法をしているわけでもない。それでも静かで心地よい空間の体験は、私にとっては良い思い出として残っている。そしてこれからも図書館が、多くの人にとって身近で親しみやすい存在であり続けることを願いたい。





こんな本が読まれています



2025年4月1日～9月30日集計



教養部門



1位

傲慢と善良

超ロングセラー！ 累計110万部突破！

辻村深月 著
朝日新聞出版

突然姿を消した婚約者。その居場所を探すため、西澤架は彼女の「過去」と向き合うことになる。現代を描き出す、恋愛ミステリの傑作。



2位

ドヴォルザークに染まるころ

本屋大賞作家が描く心揺さぶる感動作

町田そのこ 著
光文社

廃校が決まった小学校の最後の秋祭りを舞台に、それぞれの人生を生きる女性たちが描かれる。
閉鎖的なコミュニティでの息苦しさや葛藤、過去の秘密。彼女たちが下した「選択」は正しかったのか。



3位

謎の香りはパン屋から

第23回『このミステリーがすごい！』大賞受賞作

土屋うさぎ 著
宝島社

大学生の小春は漫画家を目指しつつ、大阪にあるパン屋でアルバイトの日々。ある日、親友にライブビューイングの約束をドタキャンされてしまう。誘ってきたのは彼女の方なのにどうして？ 疑問に思った小春は、彼女の行動を振り返り、意外な真相に辿りつく…。



キャリア支援部門

(キャリア支援コーナーに配架しています。)



1位

TOEIC L&R テスト Part5
至高の1500問

2位

公式TOEIC
listening & reading
問題集10

3位

史上最強
SPI&テストセンター
超実戦問題集

電子書籍部門



1位

関正生の
TOEIC® L&Rテスト文法問題
神速100問

2位



スマート時代の哲学



3位

大学生の文章術
レポート・論文の書き方

祝 図書館ボランティア部 20周年

20th
Anniversary

活動を振り返って

食物栄養学科 食物栄養学専攻 2年

図書館ボランティア部部長

向 井 望 さん



図書館ボランティア部は、附属図書館をより明るく、利用しやすい場所にすることを目標に活動しています。主な活動内容は、館内の飾り付けやテーマコーナーの作成、一身田中学校図書館でのワークショップ運営や作業の補助などです。

特に力を入れているのは、季節に合わせた装飾や展示の工夫です。図書館を訪れる方に「来てよかったです」と感じていただけるよう、部員同士で意見を出し合いながら創意工夫を重ねています。

図書館は、新しい本との出会いがあり、勉強の合間にほっと一息つける心安らぐ場所だと考えており、私たちはその魅力をより多くの人に知ってもらいたいという思いで日々活動しています。

今後も、誰もが「また来たい」と思えるような居心地の良い図書館づくりを目指し、新しい企画にも積極的に取り組んでいきます。

食物栄養学科 食物栄養学専攻 2年

若 林 深 雪 さん



この2年間の活動の中で、最も印象に残っているのは一身田中学校でのボランティア活動です。子どもたちに本や図書館の魅力を伝えるために、限られたお休みの時間でも楽しんでもらえるよう、内容や進め方を工夫しました。笑顔で取り組む子どもたちの姿を見たときは、とても嬉しくやりがいを感じました。また、一身田中学校の文化祭で子どもたちが作成したPOPには、それぞれの豊かな想像力や表現が表れており、見ていてとても楽しかったです。図書館ボランティア部としての活動は2年間と短い期間でしたが、本を通して多くの人と関わり、交流の楽しさや伝えることの大切さを学ぶことができました。

図書館ボランティア部は2025年10月に活動20周年を迎え、これを記念して関係者のメッセージやこれまでの活動記録を一冊にまとめた記念誌を制作しました。附属図書館のホームページにPDF版を公開していますので、こちらの二次元コードからご覧ください。



図書館ボランティア部
イメージキャラクター
ライプラリアン

2025年度はこんなイベントを開催しました

ボードゲーム in Library



- 自己紹介ゲーム
- 本を使った大喜利ゲーム

課題が終わるまで帰れない図書館／キャリア支援ミニ講座



自分で決めた課題を制限時間内に終わらせて
スタンプを集める企画



就活・編入学に役立つ
資料を紹介する講座

NDC 男子総選挙2025



©吉野川市立鶴島図書館NDC男子
図書館の分類を擬人化したNDC男子の投票企画

リサイクルフェア



廃棄する本を希望者に配布

図書館キャンペーン



本探しゲーム、貸出スタンプカードの配布など

“今日はおしゃべりOK”図書館スペシャルデー



映画上映会、ボードゲームの貸出など

津市立三重短期大学附属図書館 図書館だより 第53号

発行日 令和8年1月15日

編集・発行 津市立三重短期大学附属図書館
〒514-0112 三重県津市一身田中野157

